

令和3年度

一般会計

12月補正予算(第8号) 主な補正内容

1. 第13次新型コロナウイルス感染症対策（5事業）

2. その他補正 新学校給食センター整備用地取得

補正予算額(一般会計)

13億3,000万円

(単位:千円)

事業費 合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
1,330,731	715,223	—	404,419	211,089

【参考】予算累計額(一般会計)

1,233億4,795万円

NO.

1

第13次新型コロナウイルス感染症対策

7億9,100万円

(単位:千円)

事業費合計	財源内訳			
	国	県	雑入	一般財源
791,153	715,223	—	19	75,911

※一般財源75,911千円のうち、38,792千円は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

1. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）

補正額：715,242千円

12月に開始する3回目のワクチン接種が、よりスムーズに実施できるよう準備を加速します。
 （補正は令和4年3月接種分まで）

■ 3回目接種のスケジュール

2回目接種月	3・4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
3回目接種月（8か月後）	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
接種対象者	219,000人	約3,500人	約6,000人	約22,500人	約48,500人	約48,500人	約26,000人	約35,500人	約28,500人
お知らせ送付 〔1・2回目の接種記録 3回目の接種時期〕			11月下旬					12月以降	
接種券送付	11月中旬	12月中旬	接種が可能となる日の約2週間前まで						
予約開始	接種券到着後	接種券送付の際に同封の文書でお知らせ							
接種時期	医療従事者・高齢者施設	3月～7月							
	一般接種 65歳以上	6月～7月							
	64歳以下	7月～8月							
接種	病院※	3月～7月							
	診療所・クリニック	6月～7月							

※病院：大原総合病院、福島赤十字病院、済生会福島総合病院を含む病院

■ 予約方法の改善に向けた取り組み

3回目の接種予約に向け、現在、次のような改善策を検討しています。

-  接種時期に応じた接種券の発送による予約の分散
-  予約システムの改良
-  コールセンターの体制強化
-  身近なところでのオンライン予約サポート体制の強化

■ 1・2回目接種から継続する市独自の取り組み

- ① 市から接種医療機関へのワクチン小分け・配送による、医療機関の事務負担軽減
- ② 個別接種に協力する医療機関への協力金支給
【3回目接種：4週以上継続接種で 50,000円】
- ③ ワクチン接種ガイドの制作・配付

（国からのワクチン供給の状況等を踏まえ、可能となれば出来る限り時期を前倒しして接種を進めます）

1. 新型コロナウイルス感染症対策

新たなビジネスモデル創出支援

補正額：30,000千円

事業者のデジタル化と新しい生活様式への対応を引き続き促進し、コロナ後を見据えた事業継続を支援します。

- ・補助対象期間：令和4年3月中旬まで

デジタル化推進枠

補助率2/3以内 補助下限5万円 上限30万円
(デジタル化に伴う工事の場合は、補助上限50万円)

【補助対象事業の例】

- ・テレワーク導入にかかる機器等リース料
- ・電子マネー決済機能付きレジの導入
- ・各席からのオーダーシステムの導入
- ・モバイルオーダー等のシステム費用

感染防止対応枠

補助率1/2以内 補助下限5万円 上限20万円
(換気・空調工事の場合は、補助上限50万円)

【補助対象事業の例】

- ・換気機能付きエアコンの導入
- ・空気清浄機、オゾン発生機器の導入
- ・サーマルカメラ、非接触型体温計の導入
- ・新しい生活様式に対応するための改修費用

新 新事業・創業支援枠（開業後1年未満もしくは補助対象期間内に創業する事業者）

補助率2/3以内 補助下限5万円 補助上限30万円

【補助対象事業の例】

デジタル化推進枠、感染防止対応枠どちらの事業も対象とします。
(新事業に伴う工事、換気・空調工事の場合は、補助上限50万円)

1. 新型コロナウイルス感染症対策

ポストコロナ緊急経済対策

補正額：29,000千円

①街なか商店街等再生支援

市商店街連合会または商工会が実施するコロナ禍からの経済回復が図られるキャンペーン事業の開催を支援します。

- ・補助率：3/4以内
- ・補助額：商店街連合会・・・上限500万円、商工会・・・上限100万円

②デジタルエールポイント ✕ 花回廊

地域経済の再生と市民生活・経済基盤のデジタル化を促進するため、市内の飲食店等を対象にしたデジタルスタンプラリーを実施します。

- ・『ふくしま花回廊』キャンペーンと連動して市外からも誘客
- ・賞品には地場産品を活用



	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
	（県）プレミアム付き電子食事券							
	商店街等再生支援			デジタルエールポイント ✕ 花回廊				

1. 新型コロナウイルス感染症対策

福島産米消費喚起推進

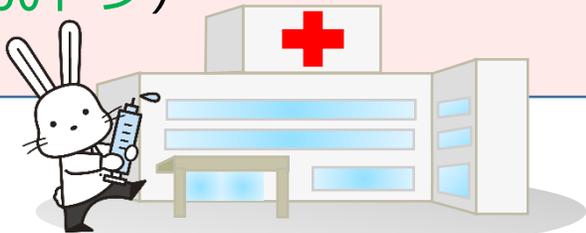
補正額：16,911千円

市が一定枠（約55トン）を購入される仕組みを設け、市内産米の需要と価格を下支えします。また市内産米を食べる機会を創出し、継続的に利用拡大する契機とします。

①市内病院のコメ購入支援

病院食に使用するコメについて、福島市産米を使用する場合は市が10kgあたり1,500円を補填します。

(期間)
令和4年1月～令和4年3月
(計30トン)



②学校給食での活用

小麦パンから米粉3割を配合した米粉パンに置き換えます。

(提供回数)
令和3年12月～令和4年3月の間、約10回
(計5トン)



③賞品での活用

『デジタルエールポイント
×花回廊』
の賞品に活用します。

(賞品本数)
5kg×4,000本
(計20トン)



1. 新型コロナウイルス感染症対策

ひとり親家庭資格取得支援

(債務負担行為補正)

ひとり親家庭のコロナ後を見据えた生活の安定を支援するため、資格取得に向けた教育訓練を受講して修了した場合、その**受講料全額を助成**します。(上限80万円/1年)

【これまでの60%助成から大幅に拡充】

(対象となる方)

児童扶養手当が受給できる所得水準の方

(対象講座)

事前に受講対象として指定された講座

→ **事前相談が必要です。**

(対象経費)

入学金、受講料及び教材費等

(対象受講講座の一例)

(例:自動車二種免許を取得する場合(授業料25万円))

給付金60% (15万円)

自己負担40% (10万円)

給付金100% (25万円) 自己負担ゼロ!

医療・福祉関係の資格や講座

介護職員初任者研修
介護支援専門員実務研修等
看護師、准看護師、助産師、保健師
介護福祉士(実務者養成研修含む)
美容師、理容師、保育士、栄養士
歯科衛生士、歯科技工士、社会福祉士

事務関係の資格や講座

実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL
中国語検定試験
日本語教育能力検定試験
※語学試験については一定レベル以上を目標とするもの
建設業経理検定
簿記検定試験(日商簿記)

情報関係の資格や講座

Webクリエイター能力認定試験
Microsoft Office Specialist
Photoshopクリエイター能力認定試験
Illustratorクリエイター能力認定試験
VBAエキスパート

新型コロナウイルス感染症対策【これまでの経過】

<p>令和元年度・令和2年度</p>	<p>第1次（令和2年3月23日発表:3月23日議決） 不織布マスク等の購入支援、ピンチをチャンスにプロジェクト、信用保証料補助 など</p> <p>第2次（4月9日発表:予備費充用） 地域でマスクを作って学校応援プロジェクト、旅館業への温泉使用料・水道料金の減免 など</p> <p>第3次（4月22日発表:4月30日議決） 医療機関への特別給付金の給付、医療資材の提供、特別定額給付金の早期支給 など</p> <p>第4次（5月22日発表:6月1日議決） ふくしま市民生活エールクーポン、新しい生活様式に対応したビジネスモデル創出支援 など</p> <p>第5次（6月22日発表:6月30日議決）(7月27日発表:7月31日議決) ICT導入による市内保育施設・幼稚園の「新しい生活様式」への対応支援 など</p> <p>第6次（8月25日発表:9月18日議決） 庁舎窓口キャッシュレス決済の導入、庁内Wi-fi環境の整備 など</p> <p>第7次（10月15日発表:10月20日議決） 冬季に向けた医療体制の充実、「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援 など</p> <p>第8次（11月19日発表:12月15日議決）(12月専決、予備費充用) ICTを活用した「福島型オンライン授業」開始に向けた学習環境の整備、医療機関緊急支援など</p> <p>第9次（令和3年1月14日発表）(2月専決）(3月補正前倒し） 高齢者等入所施設の感染防止対策強化、事業者営業継続緊急支援、クリエイティブビジネスサロン整備など</p>	<p>令和元年度・令和2年度</p> <p>382億5,600万円 (一般財源 48億3,800万円)</p>
<p>令和3年度</p>	<p>第10次(令和3年度当初予算) 感染防止対策、市民生活支援、地域経済対策、コロナ後を見据えた変革 計92事業</p> <p>第11次(3月23日発表)(4月専決)(6月補正)(6月21日追加)(8月予備費充用) 新型コロナワクチン接種(集団接種会場の増設等)、ふくしま市民生活エールクーポンなど</p> <p>第12次(9月16日発表) 積極的疫学調査継続のためのPCR検査事業費追加、ひとり親家庭等エールクーポンなど</p>	<p>69億9,000万円 (一般財源 22億4,700万円)</p>
	<p>第13次(11月発表) 新型コロナワクチン3回目接種、福島産米消費喚起、ポストコロナ緊急経済対策など</p>	<p>7億9,100万円 (一般財源 7,500万円)</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策 累計額 (新型コロナウイルス地方創生臨時交付金 交付決定額 45億2,230万円)</p>		<p>460億3,700万円 (一般財源 71億6,000万円)</p>

NO.

2

その他補正

5億3,900万円

(単位:千円)

事業費合計	財源内訳			
	国	県	市債	一般財源
539,578	—	—	404,400	135,178

2. その他補正

新学校給食センター整備用地取得

補正額：539,578千円

令和7年4月の供用開始に向け、新学校給食センターの整備用地を取得します。

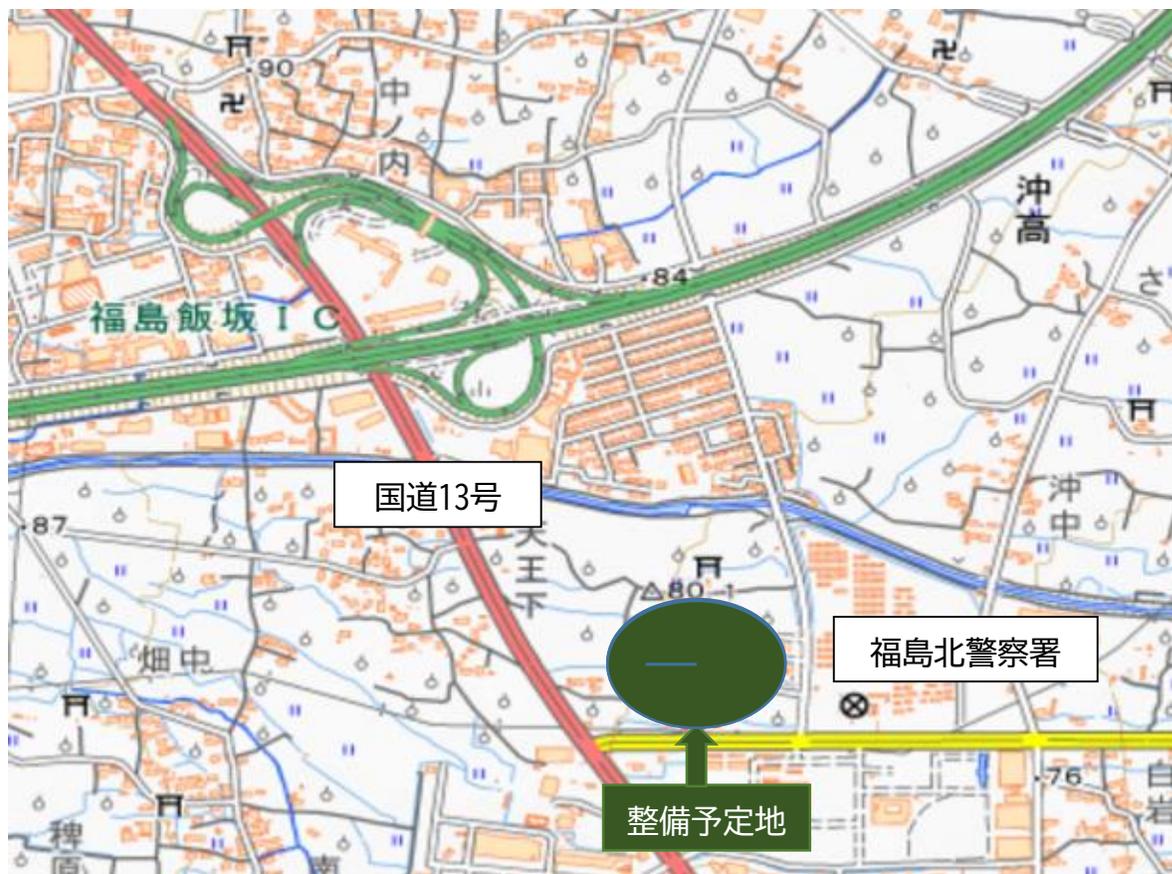
【整備スケジュール】

- R3～R4：基本計画策定
建設用地取得、事業者選定（決定）
- R4～R6：基本・実施設計、造成、
建設工事、開設準備
- R7. 4月：供用開始

（事業概要）

西部・北部学校給食センターを統合及び一部の単独給食実施校をセンター化

- ・西部学校給食センター S45年開設 3,200食/日提供
- ・北部学校給食センター S47年開設 3,100食/日提供
- ・単独給食実施校12校 3,200食/日提供



令和3年度

一般会計

12月補正予算(第9号) 主な補正内容

1. 第2期福島おおぞらインター工業団地整備
2. 福島駅東口自転車駐輪場移転整備
3. 河川土砂浚渫
4. 障がい者自立支援サービス給付費
5. ふるさと納税促進

補正予算額(一般会計)

9億900万円

(単位:千円)

事業費 合計	財源内訳			
	国	県	市債	一般財源
909,686	227,304	138,173	45,000	499,209

【参考】予算累計額(一般会計)

1,242億5,700万円

第2期福島おおぞそうインター工業団地整備

補正額：26,500千円

(一般会計から特別会計への
繰出金は19,700千円)

令和6年度の方譲開始を目指し、「福島おおぞそうインター工業団地」拡張にむけた基本設計・補償物件調査に着手します。



【第2期 全体計画】

- ①開発面積 19.4ha
- ②用地取得面積 18.5ha
- ③分譲面積 約16ha

福島駅東口自転車駐車場移転整備

補正額：12,500千円

福島駅東口北自転車駐車場の賃貸借契約終了に伴い、代替となる暫定自転車駐車場を整備します。

【既設】

あづま陸橋下自転車駐車場
(計900台)

- ・自転車
- ・原動機付自転車
- ・自動二輪車

【新設：R4.3.1～】

(仮称)曾根田駅南(暫定)自転車駐車場
・自転車のみ(300台想定)

【利用終了：R4.2月末】

福島駅東口北自転車駐車場

JR福島駅東口

【新設：R4.3.1～】

(仮称)福島駅東口東(暫定)自転車駐車場
・自転車のみ(800台想定)



河川土砂浚渫

大雨による浸水被害の発生を未然に防止するため、市が管理する河川・水路の浚渫を来年の増水期前に間に合うよう、前倒しして実施します。

(土砂浚渫の例)

(浚渫前)



(浚渫後)



補正額：45,000千円

(11河川で実施)

吉井田地区…馬川
蓬萊地区…田沢川
立子山地区…立田川
飯野地区…山田川、宮川
飯坂地区…枋窪川
松川地区…下浅川
信夫地区…八貫川、古舘川
吾妻地区…内川、大堀川

障がい者自立支援サービス給付費の追加

補正額：436,699千円

障がい福祉サービスの利用者・利用件数が増加していることから、サービス給付費を追加し、障がい者の地域生活を支援します。

(障がい者自立支援事業費の推移)

平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度補正後予算
3,746,789千円	3,943,755千円	4,254,682千円	4,837,389千円 (対前年113.7%)

ふるさと納税促進

今年度のふるさと納税による寄付金額は10月までで前年度比**3.7倍**となっており、最終的に**12億円程度**(昨年の1.5倍)と見込まれることから、決済手数料などの必要経費を追加します。



補正額：歳入2億円増

(ふるさと寄付金の推移)

